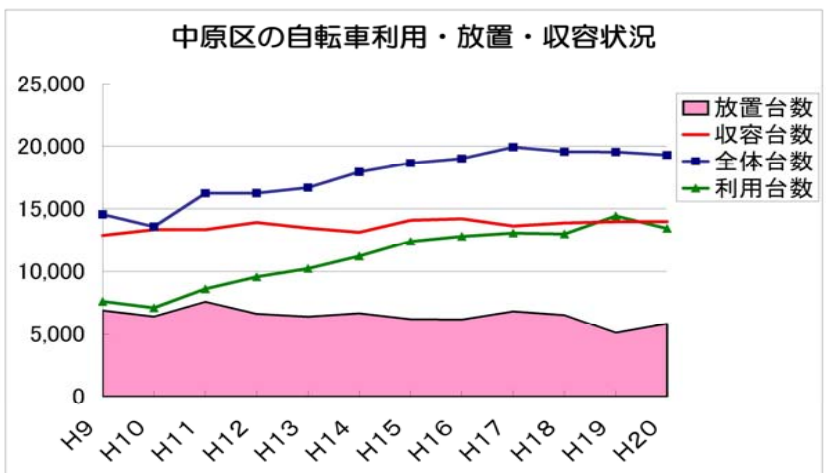


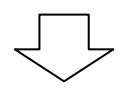
検討テーマ「地域で取り組む放置自転車問題」

【放置自転車問題の現状】
 <自転車台数調査より>

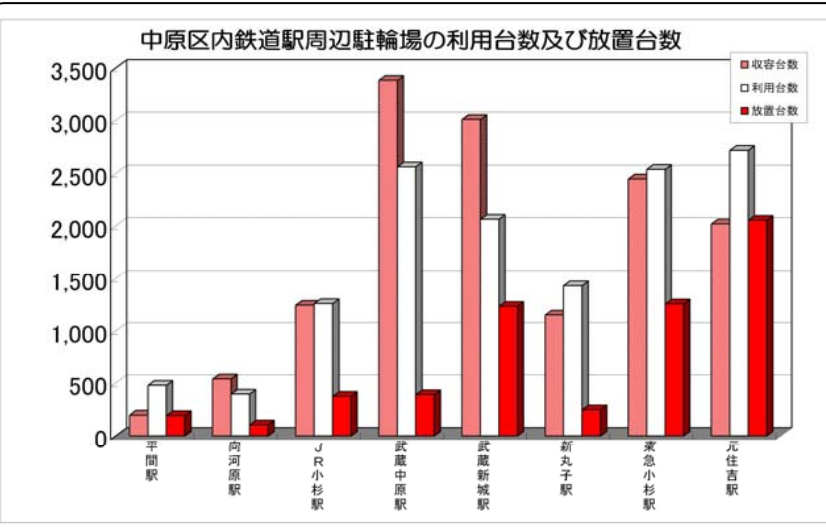


【中原区の自転車台数の推移】

- ①自転車全体台数 H10：14,550 台⇒H20：19,283 台 (32%増加)
- ②駐輪場利用台数 H10：7,130 台⇒H20：13,438 台 (88%増加)
- ③放置自転車台数 H10：6,444 台⇒H20：5,845 台 (9%減少)



- ①自転車全体台数は増えている。
- ②駐輪場の利用台数も増えている。
- ③放置自転車台数は10年前と比較してほぼ横ばい状態



- ① 向河原駅、武蔵中原駅、武蔵新城駅は駐輪場に空きがある。
- ② 武蔵小杉駅、元住吉駅は駐輪場の利用率は100%を越えている。
⇒各駅の放置自転車の状況は異なっている

【委員の意見・提案（区民会議の議論より）】

<自転車利用者のマナーに関する事>

- ・ 町内会でマナーアップ運動をやっている。同様の取組みが他の町内会に広まるよう発信していく (吉房委員)
- ・ 町内会で子ども会の保護者と交通マナーの勉強会を実施、子どもを対象に啓発用のバッジを配布、役員宅にのぼり旗を設置、啓発用チラシを町内会各世帯に配布、まちのフェンスに啓発用イラスト (ポスター) を掲出予定 (吉房委員)
- ・ PTA活動を活用して啓発活動の支援を行う (大下委員)
- ・ 小学生によるマナー啓発ポスターを放置自転車の前につるす (川連委員)
- ・ 自転車の交通教育の実施 (見直し) (杉野委員)
- ・ マナー、モラルについて子どもの教育 (富岡委員)
- ・ マナーの啓発活動を学校、町内会・自治会で徹底・促進 (松原委員)
- ・ 中学生、高校生や大人にもマナーの啓発キャンペーンに参加してもらおう。参加しやすいように楽しく語りかけることも必要 (松本委員)
- ・ 「互譲の精神 (運転するときには譲り合いの心が必要)」を広めていきたい (村山委員)
- ・ 「健康のために歩く」というキャンペーンを区民会議として、それぞれの組織でやってみる (竹井委員)

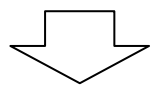
<駐輪場整備や制度に関する事>

- ・ (駅付近では費用面で設置できないというならば) 駅から少し離れたところに駐輪場を設置する (芳賀委員)
- ・ 自転車を駅周辺に乗り入れさせない (駅まで何分かは歩いて通勤) (富岡委員)
- ・ 放置自転車の罰則を強化する (藤嶋委員)
- ・ 放置自転車禁止区域などが理解されていないのでは。制度についても啓発が必要 (矢野委員)

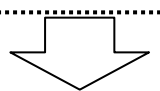
<その他>

- ・ 路上の放置であっても通行の邪魔にならないよう整列させることも対策のひとつ (芳賀委員)
- ・ 区民会議に参加している各団体の代表という立場で課題解決を考えて欲しい (芳賀委員)
- ・ 委員は出身母体である団体に持ち帰り、少なくとも関係者には放置自転車をしないようにさせる (松本委員)

【目指すべき方向性～何を指すか?】



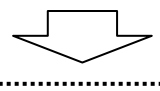
【目指すべき方向性に向かう (課題解決) ためにどのようにすればよいか】



【課題解決のための取組みの担い手は】

(担い手の例)

- ・ 区民会議委員
- ・ 区民
- ・ 地域
- ・ 行政
- ・ 区民 (地域) と行政の協働
- ・ その他



【取組みの検証】

- ・ 取組みの成果の検証
- ・ 地域への広がりの検証